

第4章 福生市農業の将来像と基本方針

第1節 福生市農業の将来像

行政面積が小さく市街地がほぼ大半を占める福生市にとって、貴重な農地はまさに市民の宝物といえるのではないのでしょうか。数少ない農地が市民に新鮮で安全な農産物を供給するという農業本来の役割のほか、潤いのある景観を演出し市民に安らぎを与え、災害時には災害時協力農地として市民に安心を与えるなど、多くの役割を果たしています。

こうした状況の中、都市農業が抱える様々な課題と向き合いながら、市民との連携の下で農業者が貴重な農地を守り続け、農地を次世代に継承し、都市農業を育成していくために、福生市農業の将来像を次のように設定します。

福を生む 福生の農地 チーム福生で 緑の保全



<市内の災害時協力農地>



<市内唯一の田んぼ>

第2節 将来像を実現させるための基本方針

将来像を実現していくために、次の3つの目標を基本方針として設定し、施策の展開を図ります。

- (1) 農地の保全と活用
- (2) 活力ある農業経営の推進
- (3) 農のあるまちづくり

(1) 農地の保全と活用 ～減らしたくない福生の農地～

都市化の進行や相続発生により農地が減少している状況に歯止めをかけるため、生産緑地や一般農地の保全や、生産緑地追加指定への積極的な働きかけや都市農地貸借円滑化法に基づく農地の貸借を促進するための体制の充実に努めていきます。また、良好な景観の形成や防災機能など、農地が持つ様々な機能の活用を目指します。

- ① 農地と営農環境を保全する
- ② 農地の多面的機能のさらなる発揮

(2) 活力ある農業経営の推進 ～育てよう 魅力ある農業経営～

地域の農業の継続的な発展のため、農業後継者などの担い手の育成支援の充実に図っていきます。また、農業者の経営意欲向上のため、認定農業者制度や家族経営協定などの整備を進め農業経営活性化への方策を検討します。同時に、環境に配慮した循環型農業を目指し、減農薬栽培などの技術向上などを図っていきます。

- ① 地域のリーダーとなる農業経営者を育成する
- ② 後継者と新たな担い手を育成する
- ③ 環境にやさしい農業を推進する

(3) 農のあるまちづくり ～福の生まれるまち 農のあるまち～

市内で採れた新鮮で安全・安心な農産物の市民への供給を推進し、都市農業への理解の浸透を図っていきます。また、健康的な食生活を送るための知識や力を習得できるよう、学校給食の地場産野菜の活用や農業体験を通じて「食育」の推進を図ります。さらに、市民農園の拡大や農業イベントの充実など市民が農とふれあえるまちづくりを目指します。

- ① 地産地消と食育を推進する
- ② 農とふれあうまちをつくる